

取扱説明書		図番	0223K-01A
品名	FX-7L	CAD	PC-01/D/0200
対応ケーブル	7C-HFL・S-7C-HFL・指定3重シールド	発行年月日	2003年4月2日

① 準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ナイフ（カッター） ・ニッパー ・挿入治具 T-FX-7 ・スパナ（口幅 16mm） ・トルクレンチ <p>16×7.85N・m(80Kgf/cm) 13×1.96N・m(20Kgf/cm)</p>	<p style="text-align: center;">コネクタ構造図</p>
---------	--	--

	アルミラミネートシールドケーブル	指定3重シールドケーブル
② 組立作業	<p>1. コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</p> <p>2. ケーブルの外被と外部導体(アルミ箔)をナイフで30mm切り取ります。</p> <p>注意：絶縁体に深い傷を付けないようにして下さい。</p> <p>3. 絶縁体を軽く揺すり、絶縁体と外部導体の間に隙間を作りフェルールを入れやすくします。</p> <p>4. 専用工具(T-FX-7)にフェルールをセットします。</p> <p>5. フェルールを絶縁体と外部導体の間に挿入します。</p> <p>注意：ケーブルの外被にフェルールのツバが密着するまで挿入してください。</p> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断</p> <p>6. ナイフでケーブルの絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。</p> <p>注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>7. T-FX-7の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)</p> <p>※ニッパーにて切断する</p> <p>8. ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</p> <p>9. 本体をスパナで固定し、7.85N・m(80kg・cm)のトルクレンチで締付金具を確実に締付けます。</p>	<p>1. コネクタの締付金具を使用ケーブルに挿入します。</p> <p>2. ケーブルの外被と外側のアルミ箔をナイフで30mm切り取ります。</p> <p>注意：編組に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>3. ケーブルの編組を折り返します。</p> <p>4. 専用工具(T-FX-7)にフェルールをセットします。</p> <p>5. フェルールをアルミ箔と編組の間に挿入します。</p> <p>注意：ケーブル(外被と編組)にフェルールのツバが密着するまで挿入してください。</p> <p>※フェルールを密着させる</p> <p>※絶縁体を切断 ※編組を切断(フェルールの近くで切断)</p> <p>6. ケーブル編組の折り返し部分を切断します。</p> <p>7. ナイフでケーブルのアルミ箔と絶縁体をフェルールの端面で切り取ります。</p> <p>注意：中心導体に傷を付けないようにして下さい。</p> <p>8. T-FX-7の孔にケーブルの中心導体を入れ、突出した部分をニッパーで切断します。(中心導体寸法：9mm)</p> <p>※ニッパーにて切断する</p> <p>9. ケーブルの中心導体を曲げないようにコネクタ本体にフェルールを挿入し、締付金具を手で仮締めします。</p> <p>10. 本体をスパナで固定し、7.85N・m(80kg・cm)のトルクレンチで締付金具を確実に締付けます。</p>

③ 取付	<p>※ コネクタを機器に接続する場合は、規定のトルクレンチを使用して締付けて下さい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 標準締付トルク：1.96N・m(20Kgf・cm) </div>	
---------	---	--